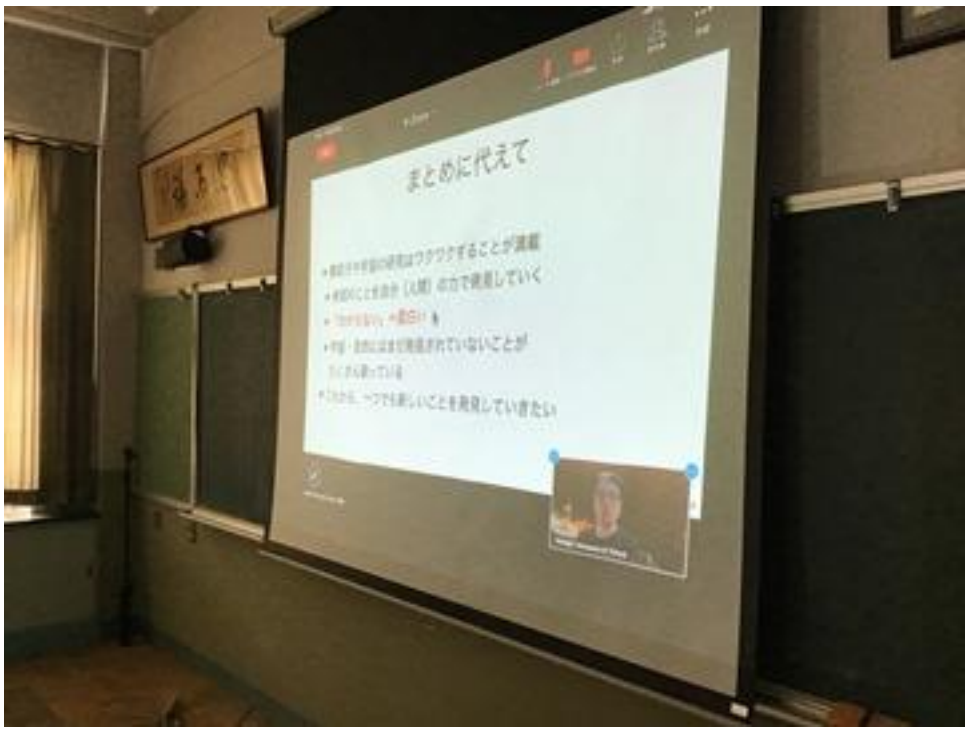
7月29日（木）第４回教養アップ講座が開催されました。

東京大学大学院理学系研究科の 横山 将志 教授とオンラインで結び「宇宙は何でできている？スーパーカミオカンデでの研究最前線」というテーマでお話していただきました。普通科１～３年生78名，理数科３学年の合計200名近い生徒が参加し，無限の宇宙を解明するために，陽子・中性子よりももっと小さい物質の最小単位，素粒子を研究するという不思議な世界に誘い込まれ，日本を舞台とした国際的な研究の中心で活躍される横山先生のお話に聞き入りました。１秒間に10兆個のニュートリノが手のひらを通過し，茨城県東海村から発せられたニュートリノが地中を通り抜け，295km離れた岐阜県神岡町，地下1000mの５万ｔの超純水を張ったスーパーカミオカンデで，１日にほんの数個だけ観測される。そんなデータを積み重ねた最新の研究では，「陽子崩壊」という世界で誰も知らない現象をひも解くことができるかもしれないと，嬉々としてお話される先生に，研究に携わる方々の情熱，苦労，喜びを垣間見ることができ，大変貴重な時間となりました。